

アナリ-ゼ
波動分析報告書／解説

TQ 塩石けん と 塩石鹼（プレーン）

2021 年 2 月 12 日

株式会社YJU 様



アクアタック研究室
代表／片岡 章

〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北 3-8-11-401

Tel, Fax : 03-3480-9618

E-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

HP : <https://www.aquatack.com>



- ◆ 当報告書は、**TQ 塩石けん** と **塩石鹼（プレーン）** の“**波動エネルギーによる作用**”に関するものです。“物質としての作用”に関しては、従来の化学分析などからご判断ください。
また、**効能を保障するものではなく**、波動値から導かれる**ひとつの見解・解釈**を記したものであること、ご承知おきください。

【解説の要約】

TQ 塩石けん と **塩石鹼（プレーン）** の波動に関する作用・特徴は以下のとおりです。
詳細については、3ページ以降をお読みください。

I. 作用する波動帯域 (波動の高さ から見た特徴)

1. **TQ塩石けん** … 直接には精神波動の帯域を活性化し、2次的、3次的に、感情や身体の波動をコントロールする。
塩石鹼（プレーン） … TQ塩石けんと同様だが、やや低い帯域、つまり感情波動に近いところに直接関与する可能性が高い。
2. **TQ塩石けん** … 自然食品店などが扱う化粧品類のなかでも、とりわけ高波動であり、そのレベルを望む人の要求に応えられる
塩石鹼（プレーン） … 自然食品店などが扱う化粧品類としては平均的なレベルであり、自然派石鹼を望む多くの人に対応できる。

II. 作用の特徴・パターン (項目間の数値の違い から見た特徴) — 上記の波動帯域における働きとして —

1. 《安心度》（バランス）
TQ塩石けん … 項目間格差によるリスクがなく、誰もが安心して使用できる。
塩石鹼（プレーン） … リスクはないが、項目間格差がやや大きく、自然派化粧品としての《安心度》は低め。

2. TQ塩石けん と 塩石鹸（プレーン）の特徴

共通点 ——

- 1) 生体防御力を高める、ストレスを解消する
- 2) 副交感神経優位に働く傾向がある
- 3) 皮膚を健やかにし、その不具合を予防・改善する
- 4) 毛髪を健やかにする

相違点（TQ塩石けん のほうが優れている点） ——

- 1) 自律神経系を活性化する
- 2) 毛髪そのものを健やかにするほか、その不具合も予防・改善する

I. 作用する波動帯域

（波動値の高さ から見た特徴）

TQ塩石けん	最大値 = S +68.1	平均値 = S +67.9	最小値 = S +67.4
塩石鹼（プレーン）	最大値 = S +68.1	平均値 = S +61.8	最小値 = S +43.6

（ S +68.1 は、これまでに測定されている最も高い数値とおなじものです）

1. 《活性度》… 波動値の高さ

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔測定値から導かれる指標（統計量）〕
> 1. 《活性度》… 波動値の高さ
- ▶ 添付資料『物品・製品の波動値（人への作用）』（波動値の高さの意味）

一般に、波動の高低による違いは、つぎのように捉えることができます。

波動が高い … 周波数が高く、振動が微細で活発。活性度が高い。
より精神的。深く根本的な作用。

波動が低い … 周波数が低く、振動が緩やかで不活発。活性度が低い。
より物質的。浅く対症的な作用。

ただし、使用する人がその波動に共鳴しない（惹かれない）場合は、これらの働きを享受することが難しいです。

この前提から、TQ 塩石けん と 塩石鹼（プレーン）については、下記の作用^{メカニズム}機序が想定されます。

- 直接、精神波動の帯域を活性化する。
ただし、塩石鹼（プレーン）のほうは、精神波動のなかでもやや低い帯域、つまり感情波動に近いところに直接関与する可能性が高い。
- 2次的に、感情波動（好き／嫌い、損／得など）をコントロールし、3次的に、身体（生命）波動をコントロールする。
- これらを総合した作用として、感情波動のアンバランスに起因する、心理面や人間関係上の問題、さらには身体的不調、これらの解消を助ける。

* ホルモンバランス、肝臓など身体に関するものであっても、その各々に呼応する身体（生命）波動、感情波動、精神波動の^{フィールド}場が背後にあると考えております。

2. 世間の製品のなかでの位置

▶ 『波動分析報告書／測定値』 > **〔世間の製品の状況Ⅰ 《活性度（波動値の高さ）》〕**

〔世間の製品の状況Ⅰ〕には、自然食品店などで扱われている化粧品（A群）の波動の高さとして、この群の平均値を中心に、約70%が分布する範囲を図示してあります。

このなかで **TQ 塩石けん** と 塩石鹸（プレーン） の平均値 $S+67.9$ と $S+61.8$ を見ますと、A群化粧品のなかで、**TQ 塩石けん** はかなりの上位に、塩石鹸（プレーン） は平均値付近に位置することがわかります。ここから、

TQ 塩石けん は

自然食品店などで扱われている化粧品（石鹸）のなかでも、
とりわけ波動の高い製品であり、
そのレベルを望む人の要求に応えられるものである。

塩石鹸（プレーン） は

自然食品店などで扱われている化粧品（石鹸）としては、
平均的な波動の高さの、一般的な製品であり、
自然派石鹸を望む多くの人に対応できるものである。

と推測することができます。

* 一般的な事実として、高い波動レベル、あるいは低い波動レベルに共鳴する人は少なく、平均的なレベルに共鳴できる人は多い、という傾向があります。

本に例えるならば、高尚な作品、あるいは逆の駄作、それらを読む人は少なく、平均的な大衆娯楽作品を読む人は多いです。このパターンに似ています。

Ⅱ. 作用の特徴・パターン

（項目間の数値の違い から見た特徴）

〔Ⅰ. 作用する波動帯域〕に見られた“波動値の高さによる評価”はひとつの重要な観点ですが、同時に、“項目間の波動値の違いによる評価”も欠かせません。以下は、この後者の詳細を記したものです。

これら双方の観点を併用することにより、製品の特徴を立体的に捉えることができます。

1. 《安心度》（バランス）

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔測定値から導かれる指標（統計量）〕
 > 2. 《安心度》… バランス
- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔世間の製品の状況Ⅱ 《安心度（バランス）》〕

一般に、項目による数値の違い（ばらつき）は、つぎのような性質を示唆しています。

数値間格差が小さい（《安心度》が高い）

全体的に一様に働く

そのため、適／不適のリスクも小さい

食品的な働き方

数値間格差が大きい（《安心度》が小さい）

波動値の突出した項目に示される働きが鋭い

そのため、適／不適のリスクが大きい

医薬品的な働き方

TQ 塩石けん と 塩石鹼（プレーン）の《安心度》は、それぞれ、**9.95** と **8.02** でした（最高値は 10.00）。

ここから、前述の“波動の高さ”による“共鳴する／しない”はあるにせよ、どちらも、**誰もが安心して使用できる製品である**ことがわかります。

ただし、塩石鹼（プレーン）は、A群化粧品の《安心度》としては、低いほうのクラスに属します。

2. TQ 塩石けん と 塩石鹼（ブレーン） の特徴

▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 『波動分析報告書／測定値』 の表（各 15 項目）

共通点 ——

下記の項目は、双方とも、大変高い波動値、もしくは傾向を示しております。

[生体防御力] [ストレス]
 傾向として、[交感神経] よりも [副交感神経] の方が高い
 [皮膚] [メラニン] [乾燥肌] [皺襞・ひだ・しわ] [皮膚の染み（斑点）]
 [アトピー性皮膚炎]
 [毛髪]

したがって、つぎの点に、優れた働きを期待することができます。

- 1) **生体防御力¹を高める、ストレスを解消する**
 この両作用により、身体を守る基本的な力を安定させます。
- 2) **副交感神経優位に働く傾向がある**
 自律神経系の [交感神経] と [副交感神経] を比較しますと、どちらの石鹼も、後者のほうが高めに出ております。
 つまり、リラックス、排毒、消化器系の活性化などに力を発揮することが望めます。
 なお、この傾向は、塩石鹼（ブレーン）のほうがやや大きいと考えられます。
- 3) **皮膚を健やかにし、その不具合を予防・改善する**
 [皮膚] [メラニン] のみならず、[乾燥肌] など、皮膚に関する項目はすべて高い波動値となっております。
- 4) **毛髪を健やかにする**
 [白髪] など毛髪の不具合に関する項目では2つの石鹼の間に差がありましたが、
 [毛髪] そのものは両者とも高い数値でした。

相違点（TQ 塩石けん のほうが優れている点） ——

下記の項目においては、TQ 塩石けん が高値、塩石鹼（ブレーン） が低値となっております。

[自律神経系] [交感神経] [副交感神経]
 [白髪] [脱毛症] [ふけ]

¹ “生体防御力” は、広い意味での「免疫」です。通常、「免疫」は、後天的に獲得される獲得免疫を指すことが多いのですが、実際には、先天的に備わっている自然免疫もあります。また、皮膚や粘膜による防御も、広い意味では免疫といってよいでしょう

ここから、つぎの2点に関しては **TQ 塩石けん** のほうに大きな働きがあると考えられます。

1) **自律神経系を活性化する**

交感神経、副交感神経ともに、ほぼ均等に活性化し、自律神経系全体の働きを高めます。

（**TQ塩石けん** ではこれらが他の項目と同じく高いのに対し、**塩石鹸（プレーン）** では、この製品の平均あたりに位置しております）

2) **毛髪そのものを健やかにするほか、その不具合も予防・改善する**

毛髪そのものを健やかにする波動に加えて、白髪、脱毛症、ふけなど、毛髪に関する不具合を予防・改善する波動も高いです。両者の協働により、毛髪をさらに健全なものにします。

（毛髪そのものを健やかにする力はどちらも大きいのですが、その不具合を予防・改善する力は、**TQ塩石けん** が格別に高い一方、**塩石鹸（プレーン）** は低めです）

以上の共通点、相違点の概略を図示しておきます。

塩石鹸(プレーン)では比較的低かった波動が **TQ 塩石けん** では引き上げられておりますが、これは、**TQ技術** によるところが大きいのではないのでしょうか。

	TQ 塩石けん	塩石鹸（プレーン）
生体防御力・ストレス	高	高
自律神経系	高	低
皮膚そのもの 皮膚の不具合	高	高
毛髪そのもの	高	高
毛髪の不具合	高	低

 **参考にした資料**

■ **TQ技術**

TQ技術について | いい値本舗 より自分らしく歳を重ねるために

https://www.iine-honpo.com/about_technology/